

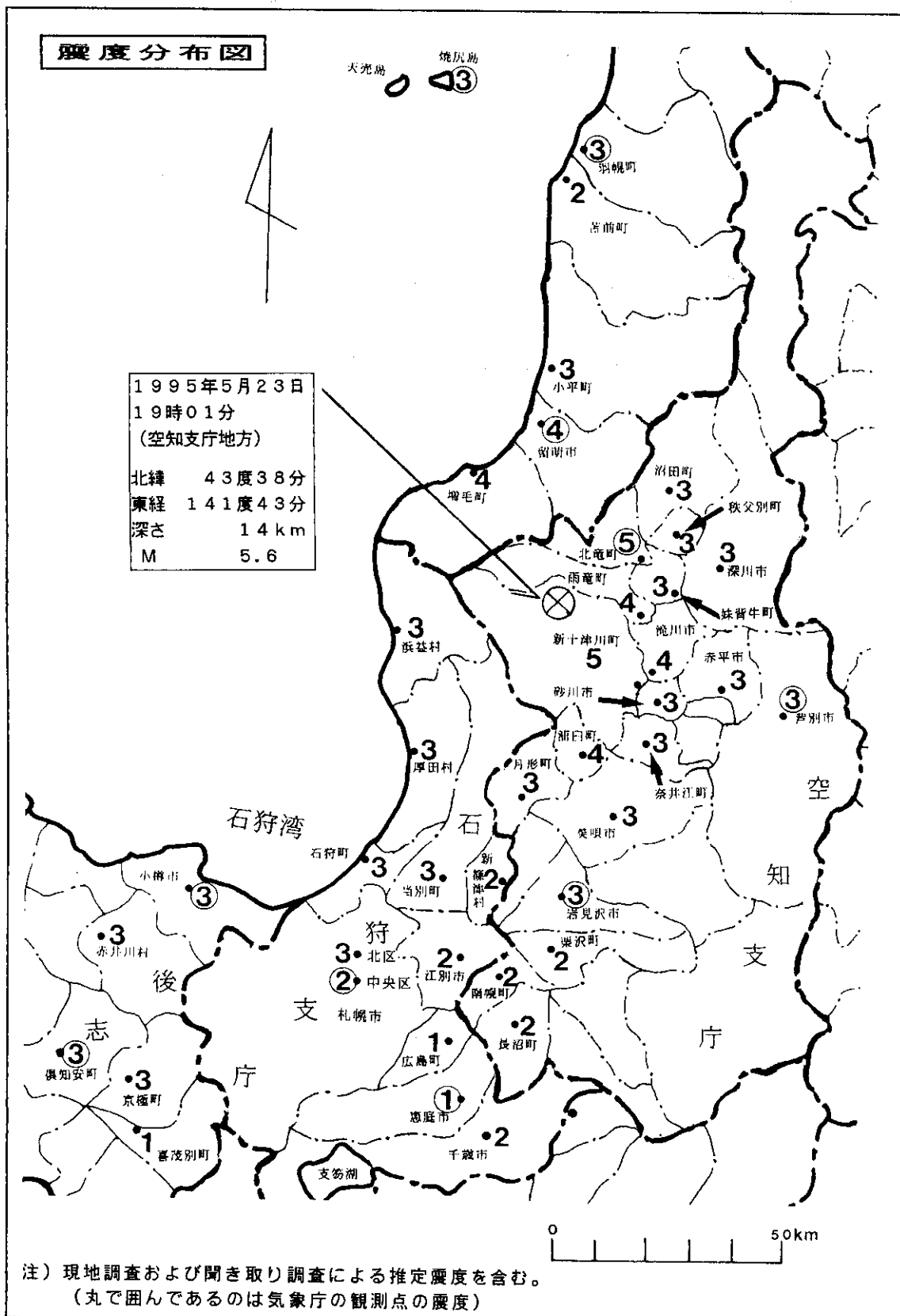
1 - 5 北海道・空知支庁地方の地震（1995年5月23日・M5.6）

On the earthquake in the Hokkaido-Sorachi region (May 23, 1995・M5.6)

札幌管区気象台

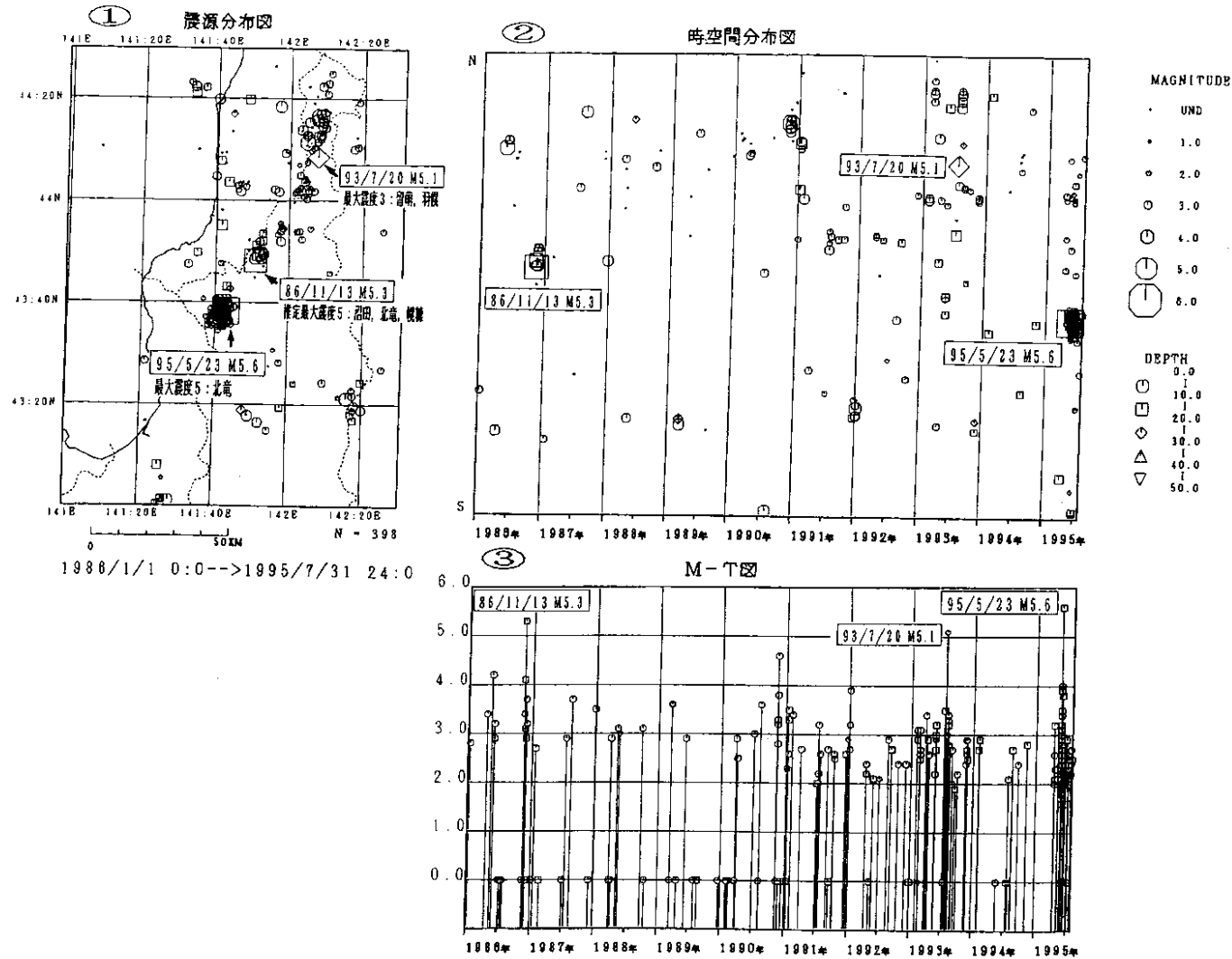
Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1995年5月23日19時01分頃、空知支庁地方でM5.6の地震が発生し、北竜で震度V、留萌で震度IVを観測したのをはじめ北海道の広い範囲と東北地方の一部で有感となった。この地震により負傷者4名、建物の損壊や墓石の倒壊、家具類の転倒など軽微な被害が発生した。札幌管区気象台と岩見沢測候所などが実施した現地調査と電話による聞き取り調査の結果を基にした詳細な震度分布を第1図に示す。震度の大きさはほぼ同心円状に分布しており、距離による震度の減衰は一樣と考えられる。被害状況としては地点毎の差が大きく旧河川敷など軟弱な地盤での被害が目立っている。余震が多数発生し、24日14時32分頃のM4.0の地震では北竜で震度IVを観測するなど、有感余震は5月30日までに15回発生した。余震活動は順調に減衰しているが現在も散発している(第2図)。空知支庁の中部から北部にかけて1986年以降の活動状況を第3図に示す。空知支庁地方は北海道内で浅発地震活動が最も活発な地域のひとつでM5以上の地震が2回発生している。このうち、1986年11月13日には今回の震源域の北東約20kmの沼田町付近を震源とするM5.3の地震により、沼田町・北竜町・留萌市幌糠では震度V相当の揺れとなり、負傷者1名、建物の損壊など軽微な被害が発生している。なお、今回の震源域の東側約10kmにはほぼ南北に連なる活断層があり、今回の地震活動との関連が注目される。



第1図 空知支庁地方の地震の震度分布 (1995年5月23日, M5.6)

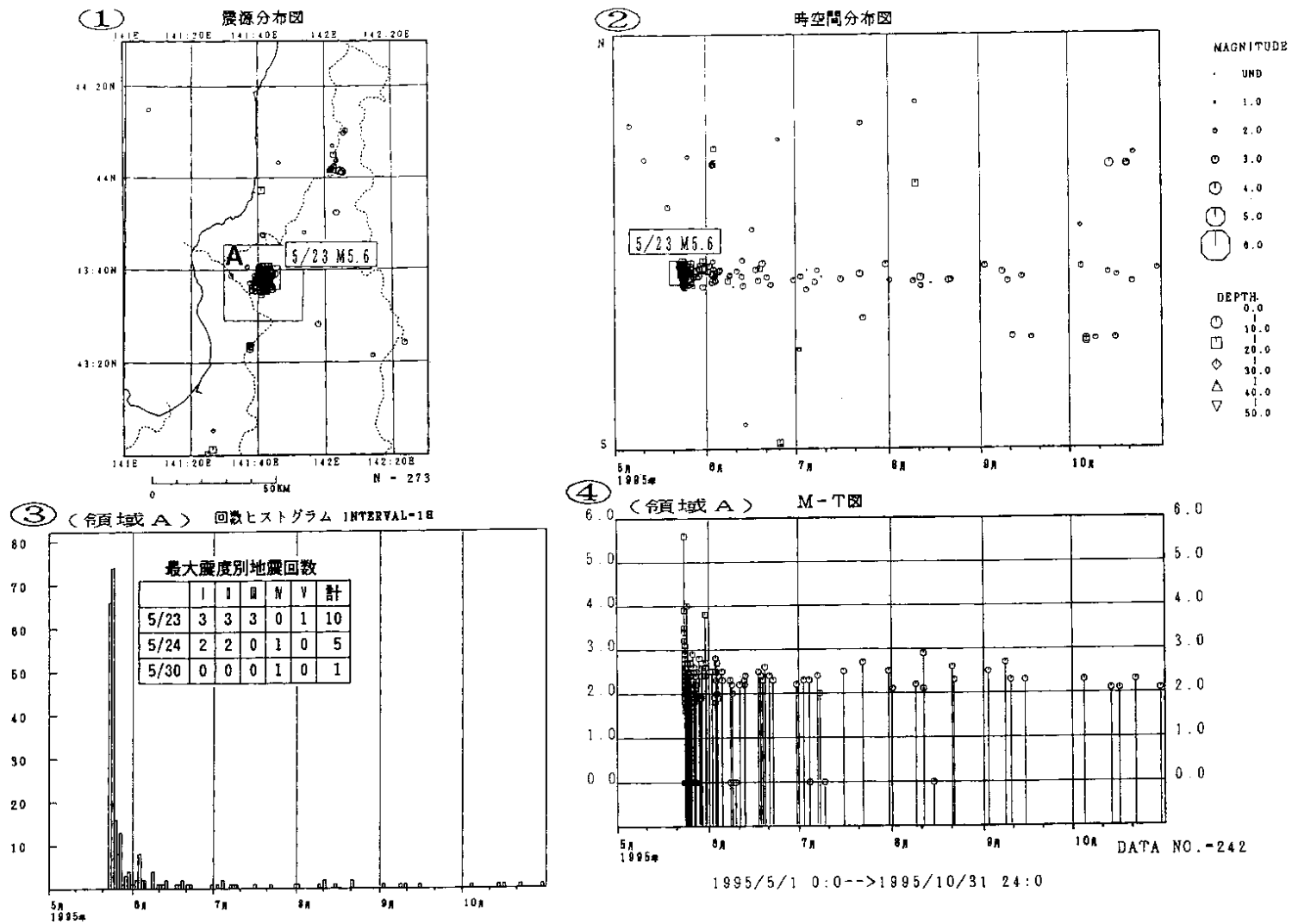
Fig.1 Distribution of seismic intensities for the earthquake in the Sorachi region (May 23, 1995, M5.6)



第2図 空知支庁地方の地震活動 (1995年5月~10月, h 50km) : 震央分布 : 時空間分布(N-S) : 回数ヒストグラム : M-T図

Fig. 2 Seismic activity in the Sorachi region (May - October, 1995, h 50km) :

: epicentral distribution, : space-time distribution (N-S) : : daily number of earthquakes, : magnitude-time diagram.



第3図 空知支庁地方の地震活動 (1986年~1995年7月, h 50km) : 震央分布 : 時空間分布 (N-S) : M-T図
 Fig.3 Seismic activity in the Sorachi region (1986-July, 1995, h 50km) : epicentral distribution, : space-time distribution (N-S) :
 : magnitude-time diagram.